

平成20年(2008年)岩手・宮城内陸地震に係る  
岩手県・宮城県への政府調査団派遣日程について

6月14日(土)

日 時	経 路	調 査 概 要 等	備 考
11:38	防衛省A棟ヘリポート発		ヘリにて移動
13:35	岩手県一関市花泉町 自衛隊空中消火等補給基地着		
14:25	(岩手県一関地区合同庁舎)	・一関市長から被害状況報告	
15:38	被害現場調査	・岩手県一関市内(矢櫃ダム) ・記者会見(ぶら下がり) 15:53~15:59	
16:00	(矢櫃ダム発)		
17:03	被害状況報告	・宮城県栗原市役所 ・記者会見(ぶら下がり) 17:30~	泉防災担当大臣ほか被災地泊

6/15(日)

(調整中)	宮城県栗原市発	※ヘリで栗駒山等を被害調査	ヘリにて移動
(調整中)	防衛省A棟ヘリポート着		

注) 内閣府防災担当大臣等調査団の一部は6/14被災地泊

○政府調査団名簿

平成20年6月14日(土)

	省庁名	官 職	氏 名
1	内閣府	内閣府防災担当大臣	泉 信也
2	国土交通省	国土交通副大臣	松島 みどり
3	内閣府	大臣秘書官	佐藤 弘之
4	警察庁	大臣秘書官	山本 仁
5	国土交通省	副大臣秘書官	魚谷 憲
6	内閣府	大臣警護官	加藤 明人
7	内閣府	大臣官房審議官(防災担当)	田口 尚文
8	内閣府	政策統括官(防災担当)付企画官	太田 秀也
9	内閣府	政策統括官(防災担当)付参事官(災害応急対策担当)付	原口 義寛
10	内閣府	政策統括官(防災担当)付参事官(災害応急対策担当)付	廣江 孝夫
11	内閣府	原子力安全委員会事務局企画官	海老根 強
12	内閣官房	内閣副長官補(安全保障・危機管理担当)付参事官補佐	辻本 崇紀
13	防衛省	運用企画局事態対処課国民保護・災害対策室長	能瀬 宏隆
14	防衛省	統合幕僚監部運用部運用第1課1等陸佐	日根野 伸一
15	防衛省	統合幕僚監部運用部運用第2課3等海佐	松岡 弘紀
16	防衛省	陸上幕僚監部運用支援・情報部運用支援課2等陸佐	塚本 洋邦
17	警察庁	警備局警備課災害対策室長	内山 直人
18	総務省	自治財政局財務調査官	関口 勝
19	消防庁	総務課長	長谷川 彰一
20	文部科学省	大臣官房文教施設企画部施設企画課防災推進室室長補佐	大藪 敏晶
21	厚生労働省	社会・援護局総務課災害救助・救護対策室長補佐	橋本 武夫
22	農林水産省	農村振興局防災課災害対策室長	佐藤 勝彦
23	国土交通省	河川局防災課水防企画官	眞名 功二
24	気象庁	地震火山部地震予知情報課評価解析分析官	斉藤 誠
25	海上保安庁	警備救難部環境防災課防災対策官	前村 伸二
26	国土地理院	関東地方測量部長	矢口 秀則
27	原子力安全・保安院	審議官	加藤 重治
28	原子力安全・保安院	電力安全課	田中 秀明
29	原子力安全・保安院	事故対策故障班長	山口 道夫
30	原子力安全・保安院	広報課班長	田村 傑
31	環境省	大臣官房廃棄物リサイクル対策部	渡辺 隆彦

# 平成20年(2008年)岩手・宮城内陸地震に関する政府調査団の調査状況

6月14日15時38分  
矢櫃(やびつ)ダム  
被害現場調査



8時43分頃  
マグニチュード7.2(推定)



6月14日14時25分  
岩手県一関地区合同庁舎  
(一関市長から被害状況報告)



岩手県

宮城県

6月14日15時40分  
国道342号被害状況



6月14日13時35分  
自衛隊空中消火等  
補給基地到着



6月14日17時03分  
宮城県栗原市役所  
被害状況報告

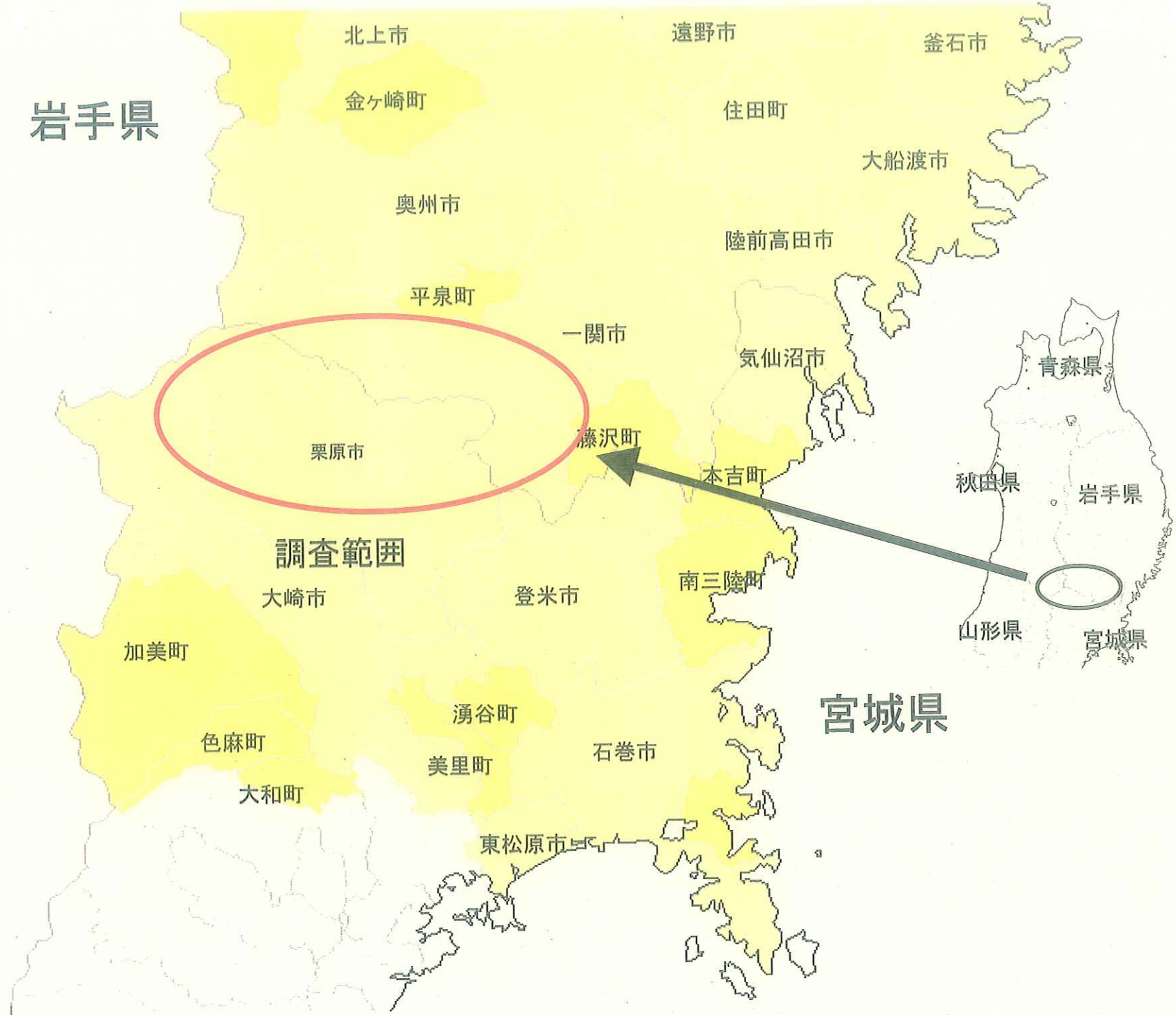


鳴子温泉

気仙沼線



# 岩手県



調査範囲

# 宮城県